

少しでも人のためになることを



東町中 野澤 邦臣

現役を退職後、シルバー人材センターへ登録した。シルバーの活動は、働くことだけでなく、ボランティアや地域に根差した活動もあり、微力ながら積極的に参加してきた。

「子ども見守り」では定期的に医王渡橋に立って、北小児童の帰りや横断歩道を安全に渡ることを確認して、児童には積極的に声をかけている。元気な子どもを見るとこちらまで元気が出てくる。子どもから挨拶してくれてとても気持ちが良い。この子たちがたくましく育って欲しいと、元気の良い子どもを見るにつけそんな気持ちになる。立っていると万治の石仏へ行

く観光客が通る。時には石仏の由来を聞いてくる。「駐車場はどこか」とか、また「ご苦労さまです」と言ってくれる人もいる。色々な人との触れ合いは結構楽しく、やりがいを感じている。

また、シルバーの同好会の仲間と「あるこうかい」に参加して、子どもの通学路で不審者が出たとの情報があれば、そのあたりを歩いたりして、子どもの見守りも兼ねている。最近世の中が物騒になってきているので、今後とも活動に参加していきたい。

昨年の四月に開館した伏見屋邸に月二回当番で当たって、来客に建物の説明や名所、旧跡の説明もしながら、ひと時古き町の良さを味わってもらっている。



観光客の説明に立つ

お茶を飲みながら、いろいろな年代やいろいろなグループ、外国の人など、観光に散策に、町にきたお客様が地元の人と触れ合える場所として喜ばれている。この当番になってから、町の歴史について改めて勉強する必要を感じている。

社中のガーデンプロジェクトで、ここ伏見屋邸に昨年からのマリーゴールドのプランター植えを九月から十月にかけて飾ってくれている。ここへ来る生徒のさわやかな挨拶や、こちらがお礼を言わなければならない片づ



下諏訪南小3 堀内 なるみ (現小4)

郡文集「みずうみ」入選作品

けの時にも、生徒の方が先に、気持ちの良いお礼の挨拶をしてくれるのにいつも感心している。シルバーでの就業中、人情に触れた思い出がある。車を縁石に落としてしまい、タイヤがパンクして困っていたところを、通りかかった男性に助けてもらったことがあり、この時の有難さは今でも心に強く残っている。人のためになることはなかなか出来ないことであるが、このような自分が助けてもらった経験の思い出して、今後も自分なりに活動していきたいと思っている。

心に残った南沢さんの言葉



- ★躊躇しないで声をかけてほしい。
- ★不適切な反応があってもあきらめないでほしい。
- ★生きる場所があることは喜びである。
- ★失敗する場づくり、失敗するチャンスを与えてほしい。
- ★必要としてくれる人がいる、そういうメッセージを送ることが大事だ。
- ★「無駄な命、無駄に生まれてくる命なんてないんだ」というメッセージを送り続けたい
- ★環境づくりが大切。精一杯大切に向き合いコミュニケーションをとりながら、お互いの距離を縮めていくことが大事。
- ★辛さを共有することが、人への思いやりにつながる。

南沢さんのお話を聞いて

偏見、思い込みが先だつてしまうけれど、関わることで消していったり理解していったりすればいいのでは...とお聞きし、安心しました。
辛い気持ちをもっている人へ、あなたは大切な存在であるとしつかりメッセージを送ることができる自分でありたいと感じました。

私は、自分の辛さも人の辛さも、ついつい見ないふりをしてしまうことが多いので、逃げずに向き合うことの大切さを考えることができました。

お話をお聞きして、最初にお話されていた自分自身の思い込みや知らなかったことに気づかされるような思いが幾度もしました。こうやって接すること、お話を聞くことが、何かを変えてくれるきっかけになるのではないかと思います。

とても元気な南沢さんに、聞いている私の方が元気をいただきました。障がいがあるうとなかろうと、人と関わることで心の成長があるのではないかと感じました。どんな立場にあったとしても、一人では生きにくい。人との関わりをわずらわしく思いながらも、成長の一助となればいいと気持ちを切り替えて、繰り返し関わり続けていく人間関係を今後もより大切にしていきたいです。

分散会にて

とても大切なことを学びました。「その人をまると受け入れる」「思い込みを理解を変えていく」「交流を進める」「障がいのあるなしではなく、その人と私との関わりこそ大切」など、すばらしい言葉と意思を感じ学ぶことができ、大変有意義でした。

障がいのあるなしにかかわらず、どんな人でもできることとできないことがある。できないことをどうお互いにフォローし合えるかが大切だと思いました。心のこもった声かけができるよう、心がけていきたいです。

挨拶運動が(人権教育の)根っこという昨年学んだことを改めて再認識し、今後の行動する指針として実践したいです。

教育、企業等の立場の違う方たちの考え方が、思いを聞くことができ、考えを新たにすることができました。環境を整えることが大切だと思いましたが、それは物理的なことのみでなく、「心の環境」を整えることも大切と思いました。

